

2020年度 第2回自治医科大学附属病院医療安全管理監査委員会報告

1 日時

2021年3月1日(月) 13:00~14:10 Zoom 会議

2 監査委員

委員長 菱沼 正一(地方独立行政法人栃木県立がんセンター 理事長)
副委員長 大槻 マミ太郎(自治医科大学 副学長)
委員 内山 聖(公益財団法人新潟県保健衛生センター 副会長
学校法人悠久崇徳学園 常務理事)
山口 育子(認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長)
遠山 信幸(自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長)

【敬称略】

3 自治医科大学附属病院出席者

管理者	佐田 尚宏(病院長)
医療安全管理責任者	山形 崇倫(副病院長)
医療安全管理部門責任者	新保 昌久(病院長補佐、医療の質向上・安全推進センター長)
診療録管理責任者	興梠 貴英(病院長補佐、医療情報部長)
医薬品安全管理責任者	今井 靖(医薬品・医療機器安全管部門長)
医療機器安全管理責任者	川人 宏次(医薬品・医療機器安全管副部門長)
医療放射線安全管理責任者	森 壘(医療放射線安全推進センター長)
感染制御部部長	森澤 雄司(病院長補佐・感染制御部部長)
病院事務部長	篠宮 正巳

4 議事内容

1 自治医科大学附属病院医療安全管理について

① 2020年度医療安全管理体制及び管理者の研修状況

今年度の各責任者における研修状況について報告があり、適正に行われていることが確認された。

② 2020年度目標と活動報告

資料に基づき、医療安全管理部門責任者から2020年度目標と活動報告について説明があった。委員より以下の意見があった。

・IC及びDNARに関する基本方針の啓発と活用状況の評価について

看護師のIC同席は非常に重要なことであるが、マンパワー不足により全てに対応することが困難な実情があり、必ず同席する基準を設けることで対応しているところが多いと思われる。カルテ記録は、IC欄を設けたことにより、一目瞭然となり、大きな意義があり、重要なことである。カルテ記載者の権限についてはシステム改修時に、ご検討をいただきたい。

③ インシデント報告件数及び報告内容

資料に基づき、医療安全管理部門責任者からインシデント報告件数及び報告内容について報告があった。

④ 初期研修医に対する医療安全研修の取組み状況

医療安全専従医師より、初期研修医に対する医療安全研修の取組み状況について報告があった。

2 2020年度高難度新規医療技術の導入及び未承認新規医薬品等を用いた医療提供について

① 高難度新規医療技術の申請及び審査状況

② 特定診療の申請及び審査状況

③ 未承認新規医薬品の申請及び審査状況

④ 適応外医薬品使用の申請及び審査状況

⑤ 未承認新規医療機器の申請及び審査状況

資料に基づき、各担当部門責任者から今年度の申請状況について説明があり、適正に行われていることの確認が行われた。

3 医療放射線安全管理体制について

資料に基づき、医療放射線安全管理責任者から医療放射線安全管理体制の状況について説明があり、適正に行われていることの確認が行われた。

4 自治医科大学附属病院における新型コロナウイルス感染症対応について

感染制御部長から県内および院内における取組状況について報告があり、感染防止対策に力を入れ取組まれていることの確認が行われた。

5 その他

【講評】

- 大変きちんと取り組んでいる。今後も各施設の手本となるような医療安全管理体制を構築していただきたい。
- とてもよく取り組んでいる。これで完成かと思うと次の課題が出てくるが、それに対しても真摯に取り組んでいる。
- 今回、リモートでの開催について、個人的にはありがたいと感じている。ワクチン接種等によりコロナの流行が収束し、気兼ねなく対面で実施出来ることを願っている。
- これまで、課題に対して必ず整備を進めてきているが、次なる目標として、ICの記載率の向上、多職種によるIC欄への記載が挙げられる。今後、課題整備によるスタッフや患者の変化についても目を向けてもより一層の向上を期待したい。